

介護付有料 老人ホーム 花つむぎ

自立・要支援・要介護どなたでもOK!
認知症専用フロアもあります。

1 か月のご利用料金

家賃 (12.6畳)	食事代	水道料	管理費
53,000円	46,200円	2,037円	19,127円

月額 **120,364円**

※介護を必要とする方は上記料金の他、介護保険料の自己負担が生じます。
※自立の方は上記料金の他、ヘルスサポート費 20,370円/月が生じます。
※ご入居時に敷金として 200,000円が必要となります。
※上記料金の他、電気料は個別メーターにより実費お支払いとなります。
※食費は1ヵ月 30 日の場合の記載です。
※11月～4月は暖房料として管理費に 6,620円/月が加算されます。



夏祭り 認知症予防：ふまねっと 喫茶コーナー

トイレ付き冷暖房完備

居室平面図

20.77㎡
約12.6畳

※ベッドは個人で
ご利用願います。



男女別スロープ付き天然温泉浴室 居室



機能訓練室 カラオケ室

いつまでも快適で
安心できるシニアライフを



医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院

白老高齢者複合施設

施設のご入居
ご利用等の相談は ☎(0144)82-2200

受付時間 9:00～17:00 (土日祝除く) 担当：田代

白老町東町 2 丁目 4-12 [白老高齢者複合施設](#) [検索](#)

元気のつむぎ

情報発信

▼研修会に参加した職員の方々の皆さん、長い時間お疲れさまでした。先日、役場職員研修の講師を務めさせていただきまして、(竹)としてもこれまでの講演と違い、日頃顔を合わせ、連絡を取り合っている職員なので、やりにくいったらありやしないかったです▼研修テーマは「情報伝達・発信研修」。前半はプロの講師が、自治体の広報広聴全般について講演しました。職員は政策形成能力や事務能力の向上、まちづくり全般などに関し、随時研修を実施しているようですが、今回のテーマは過去あまり取り上げられなかったのではないのでしょうか。よくぞ今、設定したと思います。町民ニーズの多様化や増大で、多岐にわたってきている情報発信の必要性。その能力向上は当然、重要となってくるからです。「とりあえずお知らせしておこう」という時代ではありません▼後半担当の(竹)は、『おらがまちの広報紙』と題し、例えば記事の投稿については「広報紙への原稿投稿は『業務』です」「せっかくだろいろいろいいことしてるのに情報発信が下手」「行政の説明責任」「施策の流れに沿った『タイムリング』をキーワードに、広報しらおいの具体をお話しさせていただきました。記事化についても紹介させていただきましたが、時間が少なかつたものからどこまで伝えられたか▼広報紙、インターネット、SNS、町内会回覧などあらゆる媒体はどれも一つ一つが有用で、有機的に連携するのが理想だと考えますが、これはあくまでツール、伝達手段の話です。今回研修が、大切なのは発信する情報の中身や姿勢そのもの、という「職員の気つき」を促す一歩となることを願っています。これまでの編集室からのアプローチもあります。最近の紙面には既にその変化の兆しが記事の投稿、内容に現れはじめています。お気づきでしょうか。(竹)

白老町の人のごき

総人口 15,895人 (前月比19人増)
男 7,559人 女 8,336人
世帯数9,329世帯 (前月比 46世帯増)
(令和4年4月30日現在)

■編集 広報元気編集室 (一般社団法人しらい振興センター 白老町大町 1 丁目 1 番 1 号)
TEL 0144-82-8367 FAX 0144-82-8368 Eメール koho@shiraoi-genki.jp

■発行 白老町企画財政課 (白老町大町 1 丁目 1 番 1 号)
TEL 0144-82-2714 FAX 0144-82-4391 Eメール kikaku@town.shiraoi.hokkaido.jp